

【芦野基幹集落センター】  
8月8日(月)



本線をまたいで、新幹線の手前から高久駅前につなげるという説明を聞いたかと思う。それから、既に2年経っているが、その後の進捗状況はどうか。

**建設課長** 令和3年度に県で地元説明会を行った。令和4年度は設計の修正、地権者から用地の買収を始めると聞いている。用地買収の進捗次第にはなると思うが、早ければ令和5年度から工事が着工できるとの話を聞いている。



**問** 地域おこし協力隊を設置している具体的な目的、隊員に何を求めているのか具体的な内容を教えてほしい。

**ふるさと定住課長** 現在、2人いる。1人はICT関係、学校関係に入って、子どもたちに教えている。もう1人はふるさと納税関係の業務に就いており、埼玉県からUターンして活動している。今まで、13名の方が活躍している。全国よりも定住率は高く、75%の方に定住していただいている。平成27年から始まり、黒田原地区、農業関係、ヨガ関係などいくつかの活動をしてもらっている。現在は、那須高等学校の魅力化や空き家対策に従事する方の募集を進めている。



**問** 今回、スマートフォンを利用した防災に関する事業を始めたか聞いた。それらの取り組みの経過と、事業名、具体的な内容を教えてほしい。

**総務課長補佐** 現時点では安全安心メールや町のホームページで情報発信をしている。今度、固定電話やショートメッセージ機能を活用して、情報伝達ができるシステムが開発されたので、導入を目指しているところ。具体的には、携帯電話をお持ちでない方については、固定電話を登録していただき、登録された方に対して防災情報が発信された時に電話に架電するというシステムになっている。その他に電話番号が分かればショートメッセージが送れるので、そういったもので情報を発信して行きたい。できるだけ、多くの方に情報が伝達できるような方向で進めているところ。実際に10月1日以降にシステムを導入し、皆様にご案内を進めて行ければと考えている。

**問** 那須はせっかくいい町なので、何をもっと良くするか。第7次振興計画の中で、これを今やれば町が伸びるという、重点施策について教えてほしい。

**町長** 今まずは、コロナ感染症対策。優先は町民の皆さんの命を

守ること。そして次に、コロナと一緒に共存できる経済を回していくこと。次は移住定住を促す選ばれるまちづくり。持続可能なまちづくりを実現していくためには、若者層の定住移住の促進に取り組んでいかなければならない。ワーケーション、サテライトオフィス等を利用していただき、関係人口を増やしていく。基幹産業は、農業と観光がつながる施策をする。町の本当の自然の持つる良さが新たな観光にもつながっていく。



掲載したのは一部ですが、町民の皆さまからのたくさんの貴重なご意見・ご提案を今後のまちづくりに生かしていきます。ご協力ありがとうございました。

▼問合せ 総務課広報広聴係  
☎ 72-6901